

CREEK

Wyndson



Phono Pre-Amplifier

クリーク オーディオには、フォノ・プリアンプを作ってきた、長い歴史があります。

最初の製品として、1982 年に Creek 4040 を発表したことに始まり、最近の OBH シリーズのフォノプリ アンプ OBH12(MM 専用)や OBH15(MM&MC 切り替え)では、最高のパフォーマンスと価格を維持するため、アンプ回路に使う部品に常に注意を払っています。複雑さに高い精度の造りを誇るクリークの外部フォノ・プリアンプは、製品の総コストと価格対性能では、常にバランスが取れた最高のパフォーマンスで提供しております。

クリークの最初のステップは、妥協のないフォノ プリアンプとして Destiny フォノ カードが作られ 2006 年に導入されました。このプラグイン回路はクリークの Destiny インテグレイティッドアンプに装着され、アンプから電源の供給に限られていた。そのパフォーマンスの模範的な新しい回路は、アクティブな非常に高性能オペアンプ SSM2019 のバランス型アンプとして、非常に正確なパッシブコンポーネントと供に、正確な RIAA のイコライザカーブが達成できることを証明しました。内蔵アンプの限られた範囲内で動作させるためには、左と右のチャンネルに小型 4 層基板表面実装技術を使用して、それを圧迫しました。

Destiny プラグイン フォノ ボードの成功は妥協のない製品として Wyndson フォノ プリアンプの開発につながった。同じスタイリッシュなケースは、クリークのハイエンドターン テーブルの電源にも使用されて Wyndson LP1 速度コントローラとして組み込まれています。

最高のパフォーマンスを提供する為、左と右のチャンネルは別基板に組み込まれています。各チャンネルは完全に他のチャンネルから分離された、専用の電力供給レギュレーションがあります。

アンバランスの入力と出力は、高品位の金メッキ RCA ソケット経由で接続されています。

バランスの入力は、専用の 3 ピン ミニ DIN ソケット経由で接続が可能です。トーンアームといくつかのカートリッジはバランス構成の結線にて、付属の DIN プラグにハンダ付けすることができます。



入力選択、カートリッジの読み込み、利得の全をフロントパネルから完璧に調整が可能、リレーは全ての機能を切り替えるに使用され、専用の高品質でリニアな電源供給により、アナログのプリアンプ回路からそれらをアイソレーションしています。

フロントパネルの表示は、どのパラメータが選択されているかを示しています。マイクロコントローラー制御のインターフェイスは、ロータリー入力セクターとプッシュ ボタンを介してアクセスします。カートリッジ毎に他のパラメータのいくつかの種類をプログラムすることができ、ユーザーはそれぞれの名前をメモリ単位にあらかじめ番号として保存します。各選択の表示は、最大 16 文字を記述することです。エントリごとに、カートリッジの名前が表示され、種類、説明を入力します。表示の明るさを調整も可能で、完全にオフにもできます。

ミュートはプリアンプの出力をショートしてボリュームをカット、ユーザーがレコードを変更し、再度、ミュートボタンを押して前のレベルに戻るのを助けます。

フォノプリアンプは、新たに開発された WyndSOR 電源ユニットにて、アナログとデジタル回路に個別の電源を使用します。プリアンプのオンオフは、プリアンプの前面スイッチまたは電源ユニットの背面スイッチによって可能。

【技術仕様】

利得： 40, 45, 53, 61, 70 dB の 5 段階ステップ

歪： 0.001%

アンバランス & バランス入力： RCA & ミニ DIN

周波数特性： 0.5Hz - 100 kHz (±0.5 dB)

IEC ロールオフ(7950us)： -3 dB @ 20 Hz , -6 dB @ 10 Hz

ノイズ： -76dB

セパレーション： 76dB

DC オフセット： ±0.1V

入力キャパシタンス： 100pF, 440pF, 1.1nF, 1.4nF

入力抵抗： 91 Ω, 100 Ω, 1 kΩ, 33 kΩ, 47 kΩ

最大出力： 10V

WyndSOR 電源ユニット： 2 x トロイダル電源トランス と ローノイズレギュレーター

【価格】 ¥250,000/税別

【発売時期】 2011 年 7 月